

奨学金： 牧田甚一国際奨学基金

大 学： 立命館アジア太平洋大学

名 前： LAMICHHANE SURESH PRASAD

国 籍： ネパール

私はまだ電気と道路がないネパールの遠隔地で生まれ、日本の AACSB を授与された大学で経営学の学士号と MBA を取得することは全く想像できませんでした。ネパールの貧しい地域から日本への旅はとても難しいものでしたが、人生で様々な経験を身に付けて成長していると思います。さらに、日本で地域交流会に積極的に参加し、様々なことを学び、自分が成長したと思います。日本文化の素晴らしさや「おもてなし」の精神について深く学び、文化的背景や信仰宗教に関係ない価値観や考え方を尊重するよう努めました。

私は牧田甚一国際奨学基金の受給者として様々なことを頑張りました。協会の奨学生となり、私に人生を変えてくれるような素晴らしい機会を与えてくださった公益財団法人日本国際教育支援協会様に心から感謝を表したいと思います。在学中の経済的不安を緩和した結果、アルバイトのために使う予定であった時間を研究活動や地域開発への参加に使うことができました。協会の奨学生として、自信を持って、自分の夢を実現することができたと思います。

私は大学院の勉強や研究に優秀な結果を出すことが出来ました。昨年 11 月に大学で行われた AP conference や今年の 1 月に沖縄で行われた APBERS conference に参加して研究発表もしました。また、私は”Behavioral economics and remittance transactions: a new model for international economic development (行動経済学と送金：国際経済開発のための新しいモデル)”というタイトルの本を出版することができました。この本によって、送金を生産的に活用することが農村部社会の支援につながることを期待しています。

また、日本人との交流を通じて、日本文化の理解を深め、ネパールの食文化や言語を日本へ普及していきたいと考えています。日本はネパールに学校、道路、病院などの生活に欠かせぬ施設を建設してくれる、いわば母親のような存在です。日本の地域社会の人々との交流を通して、私は日本政府の継続的かつ献身的な支援にお礼を云いたいと思っています。

私の狙いは、ネパールなどの貧困国のための政策立案者になることです。天然自然を利用して発展できるような政策を作って地域社会に貢献したいです。協会の奨学生になってから私は夢に近づいたと思います。将来も様々なことに頑張って、貧しい地域に貢献したいと思います。